

Riu's Corner

今回はレンガのアーチについて、みんなと一緒に勉強したいと思います。レンガのアーチは、通常レンガを積み上げてアーチ状に形成されます。橋、門、窓、トンネル、建物の天井など様々な建築物で見られます、また、その美しいデザインと耐久性から装飾的な要素としても利用されることがあります。あの有名な William morris の RED HOUSE もアーチが特徴的です。中国では玄関にアーチ形状を入れると、縁起がいいとも言われています。



RED HOUSE in England

積みレンガで玄関アーチを作る場合は

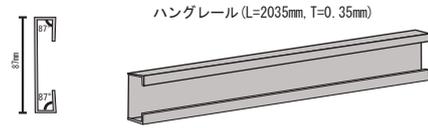
1. アーチの形状やサイズを決めて、レンガ、セメント、砂、水、ハンマーなど必要な材料と道具を準備します。
2. アーチの形状に合わせて型枠を作成します。
3. 型枠内にレンガを積み上げて行き、モルタルを使ってレンガを固定します（※レンガとモルタルの間隔を均一に保つようにします）。



4. レンガを積み上げたら、余計なモルタルを取り除き、表面を整えます。
5. アーチが完成したら、モルタルが十分に乾燥するのを待ちます（※必要に応じて、レンガの補強の為に鉄筋を使用する場合があります）。

弊社のブリキットシステムで簡単に綺麗なアーチが作れます。それにはハングレールを使います。

1. アーチの下地を作って、それに沿ってハングレールを取り付けます。



2. ハングレールの溝にレンガをはめ込みます。
3. 目地を入れたら完成です。レンガの落下の心配は一切ありません。



アーチはおしゃれな家のアクセントです



CHECK
&
POINT



商品情報は
こちらから！



クラシックシリーズに新しいレンガ「coral（コーラル）」がラインナップされました。柔らかな暖色ベースで程よい色ムラが特徴的です。強い色ではないので他のレンガと混ぜても調和が取りやすく唯一のオリジナルレンガ外壁も可能です。もちろん、そのままでも素敵な風合いです。



ぶらりレンガの旅

～富岡製糸場～



今回のお話は群馬県富岡市にある世界遺産の富岡製糸場です。何年も前に行ったのですが貴重な体験もでき、家族で楽しめました。



世界遺産でフランス積み

当時は国宝でもある西置繭所の保存修理工事をしておりヘルメットを被っての見学が可能でした。順路に従っていくと見おぼえのある積み方が・・・

私：「これフランス積みだ」

ガイドさん：「何されている方ですか!？」

私：「レンガ屋です」

ガイドさん：「あ～なるほど」

とご納得頂きました。フランス積みは一番きれいに見える積み方とも言われています。

フランスの方が設計にも携わったとか。

やや大きめのヘルメット被って出発



伝統的な生糸の巻き取り

座繰り体験もできました。まず繭を鍋で煮てふやかします。ふやけた糸を引っ張り歯車式の枠に巻き取る作業なのですがこれがなかなか難しいみたいです。今は簡単に布を手に入れますが昔は蚕から繭、繭から糸、糸から布と製造自体大変だったんだろうなと思いました。



座繰り体験、苦戦中・・・

塗り壁の下から覗くレンガの正体

この建物の大きな特徴は「木骨レンガ造」という構造にあります。これは柱や梁と言った構造部分を木材で造りその間にレンガを積んでいくものです。木骨部分に屋根の重さのほとんどがかかる為、レンガの壁にはあまり負担がないのが特徴です。レンガを積んだだけの建物より頑丈と言う事ですね。レンガの上から漆喰を塗っているのでパツと見は分かりません。



漆喰が剥がれている所から部分的に見えるレンガ

Check

こちらから！
ホームページ



こちらから！
カタログ
ダウンロード



こちらから！
ブリックシステム
の施工動画



COPYRIGHT (C) 2023 BRICKLAYER PRODUCTIONS, INC. ALL RIGHTS RESERVED.



映画紹介



面白そうな映画が公開されました！そのタイトルは「ブリックレイヤー」。日本語に訳すと「レンガ職人」って事ですね。何者かが米政府に批判的なジャーナリストを殺害。CIAの仕業に見せかける事により世界が米国に対して厳しい目を向け始める。犯人が浮上する中、事件解決の為、元CIA捜査官で今はレンガ職人として穏やかな生活を送っていた主人公に白羽の矢が立つ。という内容のサスペンスアクションとなっています。日本では馴染みの薄いレンガ職人という職業が映画主人公の仕事になっている点にある意味ショックを受けました。日本と欧米文化の違いなのでしょうか。監督は「クリフハンガー」や「ダイ・ハード2」を手掛けたレニー・ハーリン。公開劇場は多くないですが探して行ってみましょう！